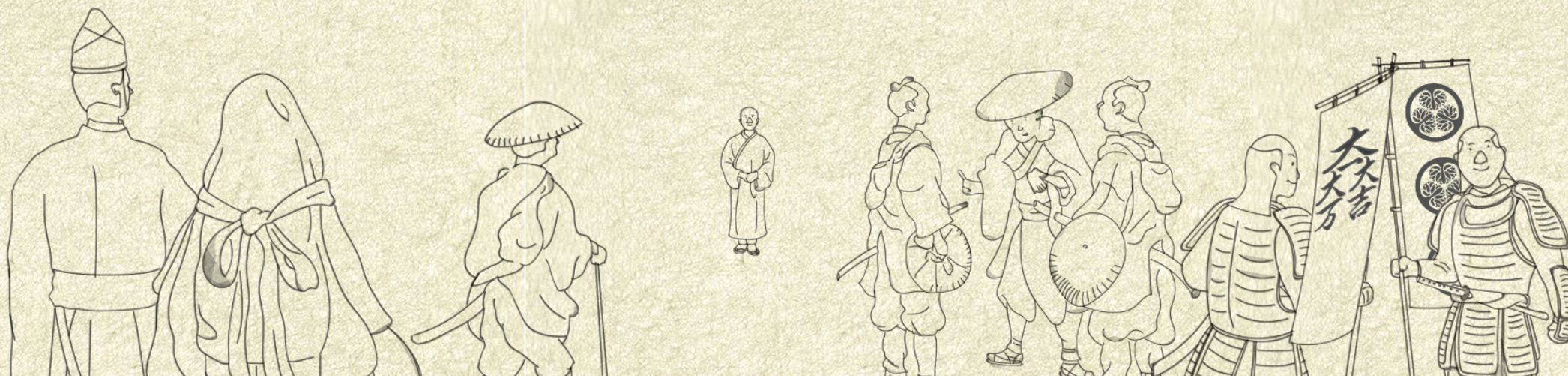


自治体 友だちの輪



自治体デジタル化を少しずつ進める
自治体職員のためのコミュニティへようこそ!



ごあいさつ

自治体職員の皆様へ

はじめまして。突然のお声がけて失礼いたします。

昨今、デジタル庁の設立や脱ハンコ、そして、自治体内の業務効率化や住民サービス向上に向けて、行政デジタル化の動きがニュースでも多く流れています。企業と変わらぬようなDX(デジタルトランスフォーメーション)を推し進めている、とても先進的な取り組みをされている自治体も多くみられ、さまざまな場所で情報交換やコミュニティが形成され、自治体デジタル化が活発化してまいりました。

一方で、全国に1700を超える自治体が存在し、個々の自治体が特性と課題を持っており、一律にそのような取り組みを始めるのは難しいという声も聞こえてまいります。

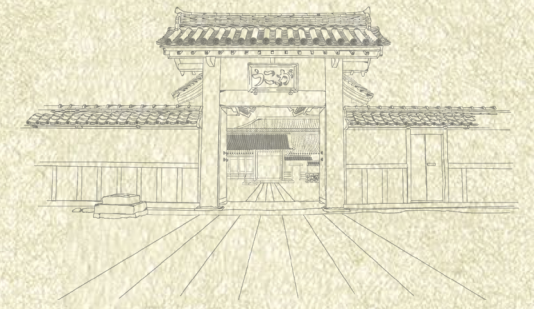
ご予算、マンパワー、優先順位。デジタル化の潮流は理解していても、これまでの仕組みを変えていくのは相当の覚悟と体力が必要なはずで

す。今回ご案内させていただく『自治体DX 友だちの輪』では、デジタル化のはじめの一步を踏み出すための後押しができるような情報をたくさん提供してまいります。

そして、このコミュニティに参加いただきたい自治体関係者の対象者は、すでに積極的にデジタル化を推進されている方だけではなく、これから自治体内の課題を発掘し、デジタルに置き換えることの恩恵があるかを考えてみることから始める方を中心としたいと考えております。

「デジタル化とは何の意味があるのだろうか？」

そこから、全国の自治体の皆様、IT企業の皆様、官公庁の皆様とあらためて考えていきたいと思っております。



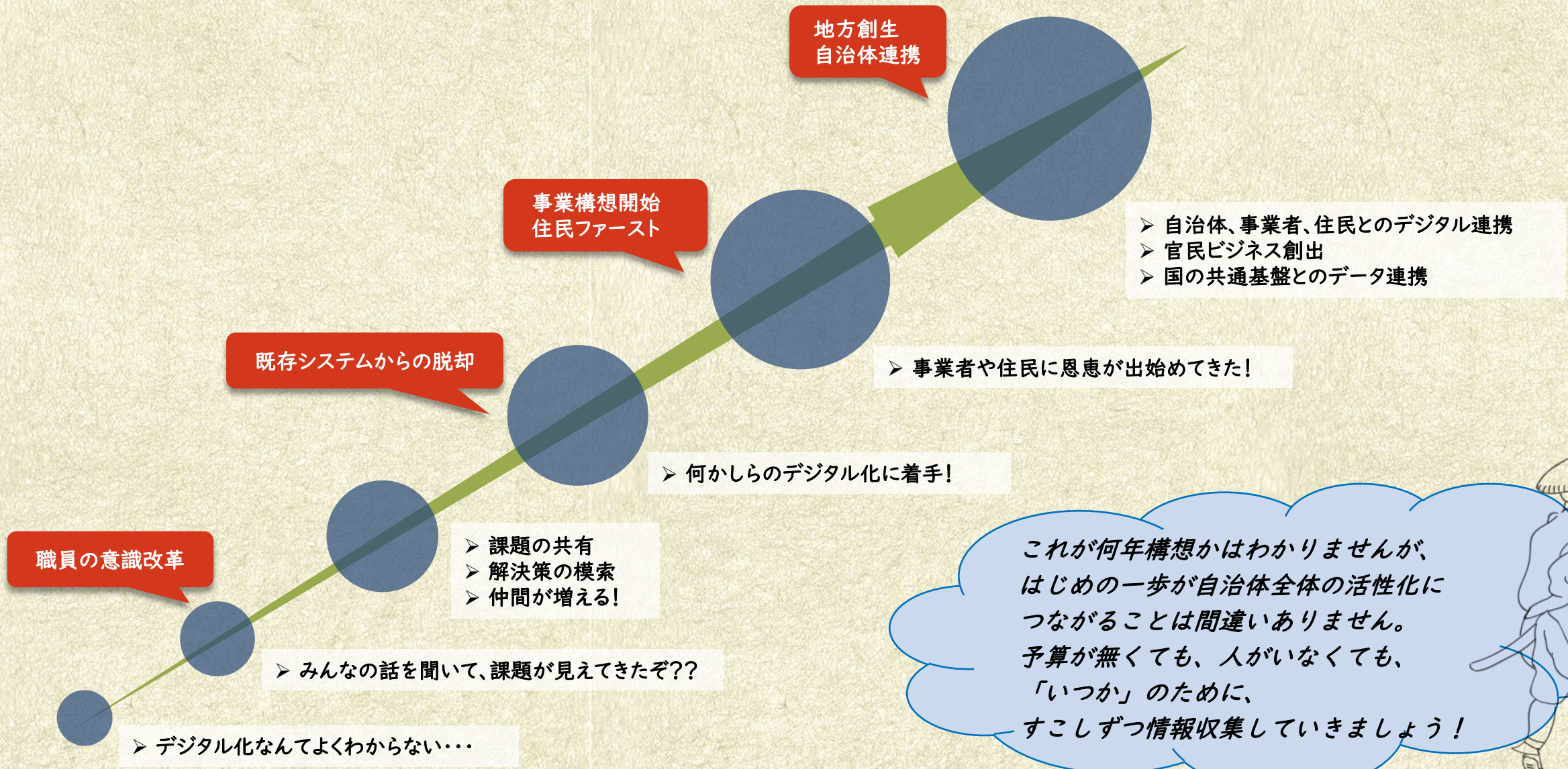
自治体が抱える課題、不安、不満、、、

1. 自治体内の効率性や住民サービス向上は求められているが、それらが「デジタル化」で解決するのだろうか？
2. 予算、マンパワーが無い中で、新たな取り組みを始められるのだろうか？
3. そもそも今の環境を変える必要があるのかのモノサシが欲しい
4. デジタル化をやりたいのだが、何から始めてよいのかわからない
5. 他の自治体の動向を知りたい
6. 安心できるITサービスを紹介してほしい（現状はあまり選択肢がない方におススメ。。。）

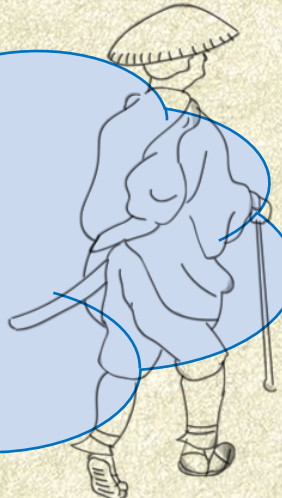
『自治体DX 友だちの輪』コミュニティで得られるコト

- A) 国が目指すビジョン、自治体のリアルな現実を知り、今後どのように進むべきかの指針が少しわかります。
- B) 自治体の課題の棚卸のポイントがわかります。
- C) 棚卸した課題のデジタル化の手法のヒントが得られるかもしれません。
- D) 日々の自治体のデジタル化のニュースが届きます。
- E) 同様な課題を持った自治体とのつながりができます。
- F) 恥ずかしくて聞けないような質問も気軽に聞けます（匿名制なので）。
- G) 上記を経て、自分が何を取り組むべきかが見えてくるかもしれません。


『自治体DX 友だちの輪』は大きな夢を持っています！



これが何年構想かはわかりませんが、はじめの一步が自治体全体の活性化につながることは間違いありません。予算が無くても、人がいなくても、「いつか」のために、すこしずつ情報収集していきましょう！



コミュニティ概要

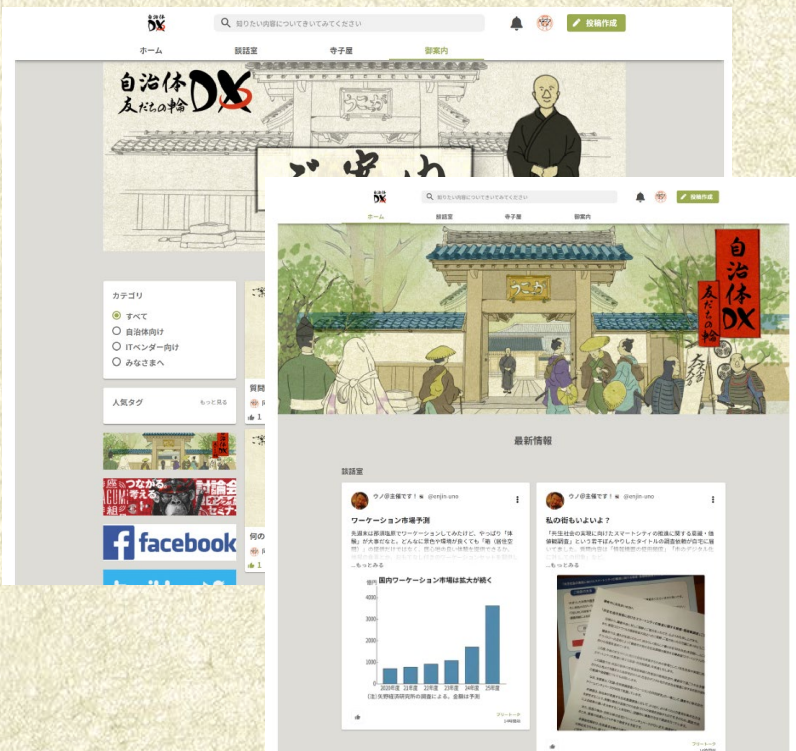
コミュニティ名	自治体DX 友だちの輪
コンセプト	「全国自治体のデジタル化」を理念に、国、自治体とITベンダーとの情報交換の場として、誰もが臆することなく覗ける、発言できる学びのコミュニティを形成する
コミュニティの運用目的	<ul style="list-style-type: none">自治体のデジタル化推進自治体間、ならびに自治体とIT企業との情報交換、コミュニティ形成自治体における新たなデータ活用、IT企業との協業による地方創生・市場創出SaaS利用の啓蒙、製品、事例紹介
参加対象者	自治体関係者、IT関連企業、官公庁他
主な活動	<ul style="list-style-type: none">自治体職員の交流、情報交換IT企業からの情報提供、質問対応オンライン座談会の定期開催
コミュニティ参加方法	登録制(コミュニティサイト上では匿名制選択可能) 参加登録はこちら: https://www.ape-man.jp/jichidx 上記URLよりお申込み、または、添付FAX用紙にてお申込み
コミュニティ参加費用	無料
主催	座組プロジェクトチーム(株式会社猿人)
連携	自治体アプリマーケット(Digital Service Square)  https://dss.linkdata.org/about

『自治体DX 友だちの輪』の使い方

「全国自治体の総デジタル化」を理念に、国・自治体とITベンダーとの情報交流の場として、誰もが臆することなく覗き、発言できる学びのコミュニティです。

すでに積極的にデジタル化を推進されている方だけではなく、これから自治体内の課題を発掘し、デジタルに置き換えることの意味・恩恵があるか考えてみることから始める方が中心に集まる場となります。

また、本コミュニティは、非営利団体で活動しており、官公庁、IT企業の知見をお借りして、「寺子屋」と称した座談会/勉強会を定期開催いたします。



1

まずは無料で参加登録！

Web：<https://www.ape-man.jp/jichidx>

FAX：添付（最終ページのFAX用紙）より

2

コミュニティWEBサイトにアクセスし、様々な投稿をチェック

3

デジタル化に関する悩みを投稿して、同じ悩みを持つ方やIT企業の意見を求める

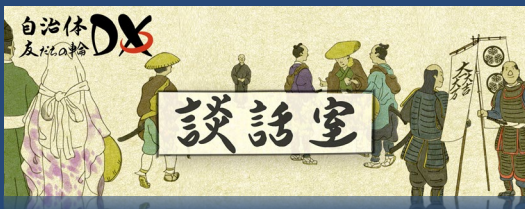
4

定期的に行われる寺子屋（オンラインセミナー）で学びを得る

5

日々投稿される自治体DXに関するニュースをチェックする

コミュニティサイトのご紹介



談話室

皆さんが自由に投稿できるページです。
ご意見やお悩み、ご相談、お気軽に投稿ください！
まずは簡単に[自己紹介]から、右上の[新規投稿]より投稿できます！参加者さんの投稿へのコメントや「いいね!」もお願いいたします！



寺子屋

「自治体のデジタル化」についてさまざまなテーマを設定してオンライン座談会を開催いたします。自治体のさまざまなご担当、官公庁やIT企業が、知見やご経験を持ち寄って、皆さんのDX推進の参考になるような勉強会を実施してまいります。ぜひお気軽に覗いてください！



ご案内

このコミュニティサイトの使い方やよくあるご質問を掲載しています。
こちらにないご不明点はお気軽に事務局までお問い合わせください！

その他、より良い情報提供と皆さんとのつながりに貢献できますよう、ご意見やご要望をお待ちしております！

こちらのコミュニティサイトが少しでも皆さんのお仕事のお役立てできましたら幸いです！

オンライン『寺子屋』開催予定のご案内



オンライン寺子屋の紹介

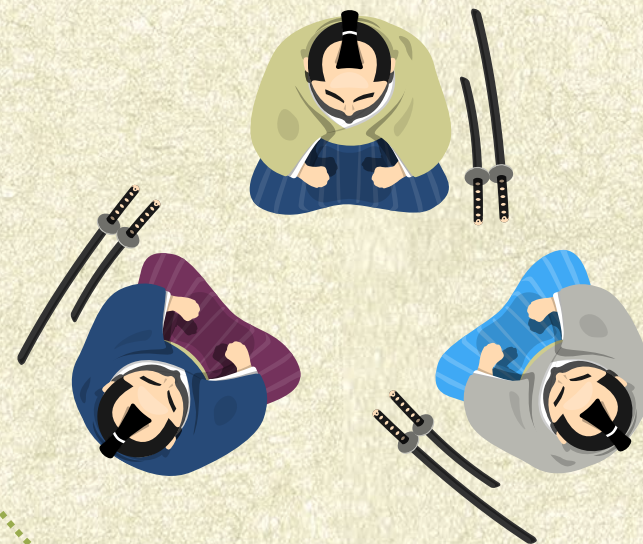
「自治体によくある課題」や「素朴な疑問」に対して、集ったスペシャリストが意見を持ち寄り、最適解であろう道程を導き出す会です。自治体職員の視点に立ち、デジタル化を推進していくためにはどのような方法があるかを、あらゆる視点、角度から知見やご意見を持ち寄り、ディスカッションを進めてまいります。

『自治体DX 友だちの輪』 オンライン寺子屋 シリーズ



- 45分間の座談会（ディスカッション）形式
- 自治体職員、IT企業、官公庁にご参加いただき、さまざまなテーマで「デジタル化の今」を探ります
- 自治体皆様の質問にもお答えします！

ディスカッション+Q&A



第五回 オンライン寺子屋 お題目

ずるいよ、スマートシティ浜松！イケてないときのこと教えて！

製造業盛んで有名企業もたくさん。浜名湖あるし、ウナギあるし、観光資源もある。それだけでもうらやましいのに「デジタル・スマートシティ構想」！？「官民連携プラットフォーム」！？未来感が半端じゃありません。。

けど、きっと現在に辿り着くまでに幾多の苦難があったんですよね、、、？

浜松市はいかにしてデジタルシフトできたのか。職員のマインドチェンジから、旧態依然とした組織からの脱却、システム変革の道程など「デジタル・スマートシティ構想」の全貌とともにお聞きします！！

ご出演

- ・ 浜松市スマートシティ
瀧本様
- ・ 沢渡様

日時

2021年11月9日(火)

ディスカッショントピック

1. 浜松市の「デジタル・スマートシティ構想」とは？
2. デジタル化をどのように進めたの？？
 - A. デジタル化以前の浜松市の姿…
 - B. 職員のマインドチェンジの方法
 - C. 他の自治体がマネするためのデジタル化はじめの一步を教えて！
3. 官民連携・エコシステムとは？
(企業と新しいビジネスを生み出す方法！)

第四回 オンライン寺子屋 お題目

要介護認定のアナログ&複雑業務フロー問題に「王手」!

業務の属人化、あらゆる業務の紙手続き、退職者の引継ぎ問題に対して、「見える化」「業務の定型化」によって、業務を大量に抱えている部署にメスを入れ、デジタルツールの導入で業務の進め方を改善する、コニカミノルタさんの自治体を俯瞰した業務効率化のITソリューション。

今回はその活用例として三重県さんにおける「要介護認定業務の効率化・標準化におけるデジタル活用」をご紹介します!

要介護・要支援認定申請は、現状は紙で行う業務フローを前提としていて、まだICTへの転用がほとんどなされていないのですが、高齢化社会に備えて確実に整備が必要な分野のひとつです。申請者側の住民も大変ですし、ケアマネージャーや医師、審査会など関わる人数も書類も多く、とてつもない工数がかかり、まさに属人化しやすい部署ですよ。。。

そこで三重県さんが連携市区町村とともに動き出しました! 持続可能な介護サービスの取り組みをぜひお聞きください!

ご出演

- 三重県様
- コニカミノルタ様
- その他1名推薦者様

日時

- 2021年10月14日(木)

ディスカッショントピック案

1. 全国自治体のアナログ業務フローの課題、無駄について
2. 介護分野の課題とデジタル化
3. 三重県における適用例、効果について
4. 職員、関係者の反応・反響は?

第三回 オンライン寺子屋 お題目

「移住」相談の有効打があった！（仮）

コロナをきっかけに「もう東京にいなくてもいいのでは？」と考え始めた首都圏住民も多いはず。東京に通勤する70%以上のビジネスマンがリモートワークでの業務に支障がない環境を整備しつつあります。

そこで目を向けるのが「地方」。頭脳は東京に通いつつ、体は憧れの土地や実家に住もうという働き方。自治体もさまざまなかたちで誘致活動を進めています。一方で、その「誘致活動」の方法も難しく、検索しても移住に関する「生の情報」はあまりない（というか自治体が提供できないことが多い）。。。

そんな中、長野県佐久市が今年にオープンした「リモート市役所」！ 行政初のSlackを活用した長野県佐久市の移住のオンラインサロンで、Slackの特性を利用した相談窓口と情報共有が開設されました。

「こういうのって誰が考えたの？」「どうやってつくるの？」「運用って大変？」などいろんな疑問に佐久市のご担当とSlackさんにお答えいただきます！

日時

8月26日(木)

14:00~14:45

オンライン開催・参加費無料

出演

- 佐久市ご担当者様
- オズマPR様
- Slack Japan様

ディスカッショントピック案

1. これまでの佐久市の移住相談・支援ってどうしてました？
2. 「リモート市役所」はどこから生まれたアイデア？
3. なぜ Slack をプラットフォームとして選んだの？
4. 運用の仕組み・体制（人的リソース・IT運用面など）
5. 庁内外の反応、相談者の反響は？

Webからのお申込みはこちら！ <https://www.ape-man.jp/jichidx>

第二回 オンライン寺子屋 お題目

デジタル人材がいなくても（無償で）DXを始められた!?

「何から始めてよいかわからない」「そもそも自治体内にデジタル知識のある人間がない」など、必要性に迫られつつも初めの一步が踏み出せない方も多いのではないのでしょうか？

意外と知られていない「地域情報化アドバイザー派遣制度（ICT人材派遣制度）」という総務省の事業があるんです。

国がお金を出してくれてデジタル化の指南をしてくれるというステキな制度。本寺子屋では、アドバイザーさんにご出演いただきどんなことをしていただけるのかをいろいろお聞きしちゃいます！

日時

7月15日(木)
14:00~14:45

オンライン開催・参加費無料

出演

- 総務省
- 深谷市様
- 地域情報化アドバイザー

ディスカッショントピック案

1. 「地域情報化アドバイザー派遣制度」とは？
2. アドバイザーが考える“自治体デジタル化が進まない理由”
3. アドバイザー派遣制度を利用した自治体の成功例、失敗例
4. アドバイザーができることと、できないこと
(自治体側との線引き・役割分担)

Webからのお申込みはこちら! <https://www.ape-man.jp/jichidx>

※コミュニティサイト内にてアーカイブ配信を視聴いただけます

第一回 オンライン寺子屋 お題目

国が目指す行政DXってなんですか？

デジタル庁の創設や行政手続きのデジタル化推進が話題に上がっています。自治体におけるデジタル化の必要性も理解できるのですが、そもそも国が自治体に求める「行政のデジタル化」とは何か基準があるのでしょうか？

国が目指す行政DXってなんですか？ 各自治体が限られた少ない予算、人材で取り組みを進めていくうえで、何を優先順位にすれば良いか、国が考える将来像を教えてください！

日時

5月26日(水) 14:00~14:45

オンライン開催・参加費無料

ゲスト講演

経済産業省 商務情報政策局
総務課情報プロジェクト室長

吉田 泰己 氏



ゲスト講演

日本マイクロソフト株式会社
Microsoft 365 事業本部
製品マーケティング 部長

岡 寛美 氏

Webからのお申込みはこちら! <https://www.ape-man.jp/jichidx>

※コミュニティサイト内にてアーカイブ配信をご視聴いただけます

コミュニティサイトに関するご質問



コミュニティの参加費用はいくらですか？

参加費用は無料です。

コミュニティの運営自体も非営利目的として運営しておりますので、利害関係が発生することはありません。



自治体名、氏名が公になるのは避けたいです。何か方法はありますか？

コミュニティサイト内は匿名での参加になります。

登録時は個人情報の入力が必要になりますが、コミュニティサイト内では所属組織や氏名が公になることはありません。



一般企業の参加も可能ですか？

自治体職員向けのコミュニティになりますので、情報提供社となるIT関連サービス企業以外の登録はお断りしております。官公庁職員、公共事業職員は参加対象としております。



自治体職員で、デジタル化に関係のない職務の場合は参加できないのでしょうか？

もちろん参加可能です。

現在デジタルに関係のない業務をされている方もデジタル化に興味を持っていただきご自身の業務がデジタルに置き換わった場合にどのような世界があるのかをお知りいただけたら幸いです。

その他、ご質問はお気軽にこちらまで！

Email: jichidx-info@ape-man.jp

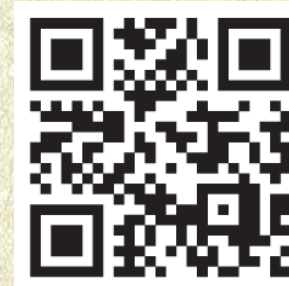


自治体
DX
友だちの輪

参加登録はこちらから



URL : <https://www.ape-man.jp/jichidx>



問い合わせ

主催：座組プロジェクトチーム（株式会社猿人）

Email : jichidx-info@ape-man.jp

「日本の経済成長とデジタル浸透に圧倒的な 介在価値を発揮する集団」

あらゆる経済指標で順位を下げていく我が国「日本」

その解決策としてデジタル化の遅れを取り戻すべく、官民一体となって「DX（デジタルトランスフォーメーション）」を推進するも、企業規模、業種、地域差によって、そしてなによりも日本に染み付く既成概念によって、ビジネス革新の道程は遠い。

世の中には、革新的なデジタルツールが日進月歩で生まれている。

そのツールによって市民の生活をもっと豊かに、もっと安全に変える可能性を秘めている。

なぜ変えないのかー

そのデジタルを通して世の中を変える。

猿人は、日本経済とマーケットそして顧客と貴社の間に圧倒的な介在価値を発揮し、その製品が本物かを見定めながら、市場への認知と信頼獲得をコミットします。

主催企業紹介

- 社名: 株式会社猿人
- 設立: 2007年6月
- 代表取締役: 宇野 浩二
- 本社所在地:

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-7
ラ・ベリテ赤坂4階

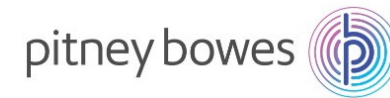
自治体DX
友だちの輪



猿人のクライアント



GE Healthcare



*Listed in no particular order

事業領域

認知獲得やリード獲得に必要なあらゆるアクティビティを横断的・継続的に支援

コンサルティング
プロモーションプランニング

Web

コーポレートサイト
サービスサイト
ランディングページ

広告

メディアプラン
メディアバイ

PR

メディアリレーション
デジタルPR
プレスイベント

リード
ジェネレーション

リード
マネジメント

データ入力
リフォーマット
データクレンジング

イベント

パートナー向け
イベント

バーチャルExpo
展示会

セミナー
カンファレンス
ウェビナー

周年記念
イベント

コンテンツ制作
クリエイティブ
ツール制作

実行・運用

貴方の「仕事」は何ですか？

多くのマーケティング担当者様は、苦悩しています。

営業部など社内の関係各所からの要求や調整が次々と押し寄せる中、新しいアイデアを出して、売上につながるリードを止むことなく創出しなければいけません。

横文字のマーケティングテクノロジーは増える一方ですし、マーケターの皆さんは終わりのない孤独の戦いをしています。

猿人は気取った企画集団ではありません。そんなマーケティング担当者のそばで、どんなプロジェクトも完遂するまで愚直に実行・運用をお供します。

困った時に声をかけてくださると、燃えるんです。何とかせねばと。

クライアントが自身の仕事に集中できるよう、数々のプロジェクトを何年もご一緒していくうちに、仕事の幅も広がり、B2Bマーケティングならだいたい何でもできるようになりました。